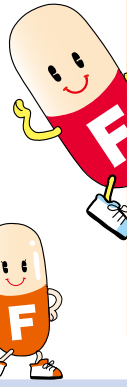


POWER!



2018年
7月
vol. **58**

平成30年(2018年)
7月20日発行
発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200
発行月 ● 隔月(奇数月)発行

<http://www.yakuren.jp>

| | |
|----------|--------------------------|
| 5月15日(火) | 佐賀県女性フォーラム(スカイプによる対談) |
| 5月20日(日) | 日本女性薬剤師会四国ブロック会(愛媛県松山市) |
| 5月26日(土) | 愛媛県病院薬剤師会会合(愛媛県松山市) |
| 6月 2日(土) | 長崎大学薬学部同窓会定期総会(東京都内) |
| 6月13日(水) | 西日本貸しおしぼり協同組合理事会(広島県福山市) |
| 6月17日(日) | 長崎県病院薬剤師会総会(長崎県佐世保市) |
| 6月20日(水) | 全国おしぼり協同組合連合会総会(群馬県高崎市) |
| 6月23日(土) | 日本女性薬剤師会総会後の懇親会(東京都内) |



京都府

大阪府

和歌山県

奈良県

兵庫県

滋賀県

訪問を、最終日は、卸会社、製薬会社、自民党京都府議団、京都薬科大学、臨床薬学

●大阪府の支部訪問
5月18日(金)、19日(土)、22日(火) 25日(金)
前半2日は、薬局訪問のほか、薬剤師会館での神農大神例祭及び未来を担う薬剤師フォーラムに参加した。後半は、卸会社の朝礼での挨拶のほか、寝屋川市、門真市、守口市、大東市、枚方市、摂津市、茨木市、高

●奈良県の支部訪問
6月6日(水)～9日(土)
初日は、卸会社の朝礼で挨拶をした後、和歌山市内の薬局及び卸会社の訪問、2日目は、海南支部、有田支部、田辺支部、3日目は、田辺市内の卸会社を訪問の後、高野町長を表彰訪問。その後、伊都支部の薬局訪問を行い、奈良県に移動した。

●滋賀県の支部訪問
6月18日(月)、19日(火)
初日は、大津市内の薬局、卸会社を訪問し、2日目は卸の朝礼で挨拶した後、栗東市、守山市、野洲市、草津市の薬局を訪問した。初日の朝、大阪北部地震が発生し、大津市で震度5弱であった。二日間であったが、60軒の薬局を訪問することができた。

●京都府の支部訪問
5月7日(月)～10日(木)
初日は、自民党議団を訪問した後、右京支部、中京支部を中心に薬局訪問を、二日目は、卸会社、製薬会社を訪問の後、市内の薬局訪問を、3日目は、卸会社の訪問の後、乙訓支部、下京南支部を中心に薬局

教育センターの訪問の後、下京南支部を中心に薬局訪問を行った。
広島県の支部訪問の際に提案され、作成されたオレンジのたすきリレーが島根県から始まっており、京都でもリレーされた。

●和歌山県の支部訪問
6月4日(月)～6日(水)
初日は、卸会社の朝礼で挨拶をした後、和歌山市内の薬局及び卸会社の訪問、2日目は、海南支部、有田支部、田辺支部、3日目は、田辺市内の卸会社を訪問の後、高野町長を表彰訪問。その後、伊都支部の薬局訪問を行い、奈良県に移動した。

●兵庫県の支部訪問
6月11日(月)～15日(金)
初日は、相生市、赤穂市、たつの市、姫路市の薬局、病院、卸会社を訪問し、夕方、三二集会に参加し、2日目は姫路市内の卸会社、薬局、病院を訪問した後、播磨支部に移り、高砂市、加古川市、明石市を経て、淡路島で三二集会に参加した。3日目は、明石市、神戸市の薬局、卸会社、病院を訪問し、4日目は、神戸市、芦屋市、西宮市の卸会社、薬局を訪問した後、三二集会に参加した。最終日は、西宮市、尼崎市の卸会社、薬局、病院を訪問した。握手した人数をカウントする「あきこメーター」が携行され、901人と握手することができた。

近畿ブロックにおいて支部訪問活動を展開中!!
本田あきこ副会長の全国支部訪問の旅は順調に進んでいる。1月末よりスタートした全国支部訪問は、東京、関東、中国ブロックを終え、5月から大阪ブロック、近畿ブロックにおいて展開されている。7月には東海ブロックを訪問する予定である。なお、本田副会長は、支部訪問の間をぬって、支援団体の会合にも参加し、挨拶又は講演の機会をいただいたを上表。

第八弾

本田あきこ副会長、全国訪問の旅

6日夕刻に開催された橿原・高市支部と御所支部の会合に出席し、7日は卸会社の朝礼で挨拶の後、吉野支部、桜井・宇陀支部、高田・葛城支部、香芝・広陵支部の薬局訪問を、8日は卸会社訪問の後、郡山支部、西和支部、天理・磯城支部の薬局と卸会社を訪問した。途中、製薬協同組合の理事会で挨拶を行った。最終日は、奈良支部、生駒支部の薬局訪問と支部会での挨拶を行った。

風力計

「薬剤師行動規範」について

日本薬剤師会は、本年1月、「薬剤師倫理規定」を改め「薬剤師行動規範」を制定しました。

薬剤師行動規範は15項目からなり、「任務」、「最善努力義務」、「法令等の遵守」、「品位及び信用の維持と向上」、「守秘義務」、「生涯研鑽」、「多職種間の連携と協働」、「医薬品の品質、有効性及び安全性等の確保」、「医療及び介護提供体制への貢献」については、倫理規定の項目を引き継ぎ又は統合するとともに内容を見直ししました。これに新たな項目として、患者の尊厳と自主性を配慮する「患者の自己決定権の尊重」、個人を差別せず公正に対応する「差別的排除」、研究や職能の実践を通じた「学術発展への寄与」、果たすべき業務についての「職能の基準の継続的な実践と向上」、自分自身の健康に責任を持ち維持管理する「国民の主體的な健康管理への支援、公正性の原則を常に考慮する」「医療資源の公正な配分」が加わりました。

薬剤師行動規範は、薬剤師綱領に基づく具体的な行動の価値判断と、薬剤師が関わる国民、医療関係者、社会との関係を明示したものです。昨年は、薬剤師・薬局に対する国民の信頼を貶める不祥事が続発しました。こうした事態を真摯に受け止めるとともに、すべての薬剤師が本行動規範に基づき専門職としての矜持をもって、社会から信頼される医療人として日々の業務に取り組んでいただきたいと思えます。薬剤師綱領、薬剤師行動規範・解説は、本会のホームページに掲載されています。

日本薬剤師会
専務理事 寺山 善彦

出席した薬剤師首長・地方議員 紹介



北海道 赤平市議会議員
北市 勲



千葉県 鴨川市議会議員
久保 忠一



岡山県 総社市議会議員
村木 理英



北海道 滝川市議会議員
荒木 文一



岐阜県 岐阜県議会議員
川上 哲也



広島県 府中町議会議員
上原 貢



北海道 網走市議会議員
永本 浩子



愛知県 愛知県議会議員
稲本 和仁



広島県 安芸高田市議会議員
山根 温子



宮城県 白石市議会議員
平間 知一



愛知県 東海市議会議員
井上 正人



広島県 熊野町議会議員
山野 千佳子



山形県 山形市議会議員
齊藤 栄治



愛知県 一宮市議会議員
中村 一仁



山口県 山口県議会議員
渋谷 正



群馬県 太田市議会議員
大島 正芳



大阪府 大阪市議会議員
辻 淳子



愛媛県 今治市長
菅 良二



群馬県 伊勢崎市議会議員
森田 修



大阪府 茨木市議会議員
河本 光宏



長崎県 長崎県議会議員
宮本 法広



群馬県 高崎市議会議員
木村 純章



兵庫県 西宮市議会議員
植田 篤治



熊本県 玉名市議会議員
北本 将幸



千葉県 茂原市議会議員
市原 健二



和歌山県 高野町長
平野 嘉也



熊本県 荒尾市議会議員
多田 隈 穰



千葉県 市原市議会議員
小沢 美佳



島根県 浜田市議会議員
川神 裕司



鹿児島県 鹿児島県議会議員
寶來 良治

【主な議員からの発言】

- 医師不足と偏在が問題
- 糖尿病の予防で医療費削減を目指している
- 本田あきこを応援したい
- 広報に当番医、当番薬局を掲載している
- 市議会議員に当選、地域包括ケアを推進したい
- 薬局を経営しているが熊本地震では重機に乗って支援活動をした
- 学校薬剤師報酬を改善したい
- 飲食店での受動喫煙防止を推進したい
- 人生100年時代に向け市民活動を推進したい
- 市議会議員選挙で初当選、地域医療に貢献したい
- 薬局・薬剤師が本気になって政治に参加すべき
- 薬剤師の政治意識を高めるのが仕事
- 地域貢献で薬剤師をいかに見せるかが大事
- 敷地内薬局反対で活動中
- 健康ポイントを推進している
- 本田あきこは戦う女性の顔になった
- 小さな声を形にしていこう
- 2期目当選したが若者の名簿が少なかった
- 市民病院の新築移転問題に取り組んでいる
- 薬事コーディネーターを推進している
- オレンジカラーで頑張る

5月31日(木)の午後、都内のホテルにおいて「平成30年度 薬剤師首長・地方議員意見交換会」が全国より30名の首長や議員が集まり開催された。冒頭、山本会長より「役員改選があり3期目の会長を務めることとなった。来年の統一地方選挙に向けて、また、本田あきこ後援会活動に対して頑張ってもらいたい。」と挨拶があった。次に薬剤師国会議員の

藤井基之参議院議員が挨拶に立ち「参議院において生活保護法34条が修正され、後発医薬品の使用は努力規定となっているのを、原則として後発医薬品とする」と述べた。また、公務のため出席できなかった松本純衆議院議員と渡嘉敷奈緒美衆議院議員からの祝電が披露された後、日本薬剤師連盟の活動報告がなされ①平成30年度事業計画、②直

近の政治課題、③第25回参議院議員通常選挙等について説明があった。そして出席した首長・地方議員からの報告と意見が交わされ、時間一杯までそれぞれの熱い思いが語られた。その後、場所を変えて本田あきこ副会長の司会・進行で懇親会が開催され、胸のバッチに関係なく同じ薬剤師として交流が深められ、来年の再会を誓いあった。

平成30年度 薬剤師首長・地方議員意見交換会が開催される

薬剤師首長地方議員意見交換会アンケート



薬剤師への期待

敷地内薬局は利益誘導です。結束して反対しましょう。

地域住民の健康増進のため包括ケアシステム構築に全力を挙げよう

地域のために薬を知り病気を知り人の心を知る薬剤師

住民に近い薬剤師はしっかりと住民を説得することができる

在宅患者のバイタルチェックで副作用の確認 Dr.に減薬処方提案

薬剤師は患者にとって真に必要な職種にならなければいけない

信頼感!! 世の中から尊敬され特に医療界では一番尊敬されるべし

患者さんにとって1番身近な相談しやすい医療の専門家であるべき

継続可能なまちづくりにかかせぬ教育と医療。薬剤師の職能発揮を!

長寿社会に向い、薬剤師の地域貢献が期待されています

薬剤師はできる!何ができる? 地域医療のリーダーができる!

第1回全国会長・幹事長拡大会議が開催される。

5月17日(木)、四谷主婦会館において13時30分から開催された。会場はSomething Orange(オレンジ色の装飾品を身につけよう。そして本田あきこ副会長を思いだそう。)の思いを込めて、全員がオレンジ色のジャケットを身につけ、会場はオレンジ色に染まった。

山本会長は、「後1年、全国での支援活動を強力に展開してもらいたい」と挨拶した。

松本純衆議院議員は、「艶やかなオレンジ色に力強さを感じている。是非全力で取り組んでもらいたい。医薬分業は量から質への時代へと遷り、薬剤師の役割が改めて大きく取り上げられている。医薬品の供給販売については政府の会議の中においても様々な意見が出されている。平成30年度改定では薬局の価値を問う議論が進み、かかりつけ薬剤師の一層の推進や地域支援体制加算の創設など地域医療に貢献する薬局の評価、対人業務における評価の充実、効率で質の高い薬局薬剤師業務の推進などが盛り込まれた。医薬品を薬剤師が供給し、他職種への橋渡しも含めて、その後も医薬品の適正使用に責任を持ち、決意を示して患者さんに貢献していくことが求められている。薬局の将来像を常に意識しながら地域



包括ケアシステムを支える一員として地域住民に寄り添い頼られるかかりつけ薬剤師として信頼が得られるよう今後も取り組んで戴きたい。入院医療から在宅医療への円滑な移行が求められる中で切れ目のない薬物治療を実現するためには薬局薬剤師と病院薬剤師がそれぞれの役割を發揮し、これまで以上の連携が不可欠になっている。地域における連携についてもオール薬剤師として取り組んで戴きたい。新たな課題として、改正から5年が経過し医薬品医療機器法の見直しについて厚生労働省で議論が行われている。この際に、今後の患者さんにとってあるべき薬局の姿について改めて考え、積極的に提言することが必要だ。私も薬剤師議員としてその動向に注視し、今以上に薬剤師が職能を發揮出来るよう全力で取り組んでいく」と挨拶した。

とかしきなおみ衆議院議員は、「ただ今環境副大臣を拜命している。先程までタイ環境大臣と会談をしていた。外国用の名刺には「Pharmacist」と資格名を入れている。これを見ると、環境の話しよりも医療体制や医薬品等の話になる。日中のハイレベル会議においても王国家副主席が一番反応していたのは医療体制と環境の話だった。日本の医療制度は世界でも注目されている事を知って戴きたい。その中で、薬剤師はターニングポイントを迎えている。10年経ったら今の仕事ではなくなっているだろう。AIも進み、調剤もロボット化するかも知れない。いま、薬剤師の職能をどこで發揮していかなければならないか考え、力を注いでいかなければならない。医薬品医療



第1回全国会長・幹事長拡大会議終了後、16時から同所において開催された。

本田あきこ「中央後援会第2回役員会が開催される。」



機器法の改正を迎えているが、厚生労働省の言うことだけを待っているのではなく薬剤師の方から提案し、その時には政治家を使って情報発信すること

が大切であり、しっかりと薬剤師議員を輩出しておく事が重要だ。政治家も窮地に落ちることがある。その時、応援を戴いた方々の顔が浮かんでくる。そうすると、こんなところで挫けてはいけなと力が湧いて来る。選挙はそのパワーを戴く機会でもある。そのパワーを本田あきこ副会長に注いでもらいたい」と挨拶した。

その後、新役員選任・会務分掌、会議予定、タイムスケジュール、支援者名簿収集等について報告と協議が行われた。

自民党薬剤師問題 議員懇談会世話人会・総会 開催

平成30年6月18日(月)、自民党薬剤師問題議員懇談会世話人と同総会が、都内会議室において開催された。世話人会では新規会員と会計報告が了承され総会に報告された。また、両会においては、日本薬剤師会の課題と要望として、1.骨太の方針2018に対する日薬の見解、2.平成31年度予算・税制改正要望、3.病院の敷地内薬局問題について、山本会長及び日薬の森副会長から説明され、意見交換が行われた。



挨拶に立った本田あきこ副会長は、「全国キャラバンで各都道府県を巡っており、3月25日で全都道府県を訪問した。現在は第2ラウンドに入っており、ブロック毎に各県平均4日ペースで薬局・医薬品卸会社・製薬企業等を訪問している。各地では、病院薬剤師連盟並びに女性薬剤師連盟にもご協力を戴き、女性のワーキンググループが立ち上がっている。また、現地の役員の方々にご協力を戴き、病院へも訪問もさせて頂いて戴いている。地方を廻ると山間部や限界集落などがあり、災害時に薬剤師が活動する環境整備もあるが、人が少なくなればなるほど、薬剤師の職能を地域の中から消してはいけなと強く思う。こうしたことはやっつければ理解して戴けるといものではない。薬剤師が薬剤師の言葉で述べることが重要であり、しっかりと政策を磨いて参りたい」と述べた。

本平日本病院薬剤師連盟会長は、「4月24日に日本病院薬剤師連盟の会議を開き、本田あきこ副会長を支援することを確認した。事ある毎に政治に関与していくことの必要性を話している。病院薬剤師のごともしっかりと理解して戴きたいと思っている。各地で開催される病院総会などに参加して戴き、支援の輪が広がっていると感じる。日本薬剤師連盟と一緒に、力を合わせて共に活動させて戴きたいと思っている。都道府県に帰られたら、薬剤師の地位向上のために私たちが頑張るので、伴に頑張りましょうとお伝え願いたい」と挨拶した。

引き続き挨拶に立った、近藤日本女性薬剤師連盟会長は、「以前、私は苦言を呈したことがあった。それは、薬局を廻って握手をしてほしいということである。故石井道子参議院議員はまずそれをやった。久々に本田あきこ副会長とお会

ファーマくんがゆく

日本薬剤師連盟 尾島博司副会長を お訪ねしました

「ファーマくんがゆく」の日本薬剤師連盟役員シリーズの第3弾は、尾島博司副会長です。日本薬剤師連盟に尾島副会長をお訪ねしました。

ファーマくんがゆく、ファーマ こんにちはファーマです。本日は、尾島副会長のプライベートを含め、いろいろな質問をさせていただきますので、よろしくお願ひします。まず、ご家族について教えてください。

尾島副会長 今年99歳になる母（現在、特養に入所中）、家内、一男三女の子供と孫がいます。私以外全員薬剤師ではありません。

亡くなった父の弟（叔父）が薬剤師だったらしいのですが、戦死したため、私は会った事がありませんでしたし、私が薬学部を受験すると父に話をした時、初めて聞きました。父はその弟を可愛がっていたらしく、叔父の名前「博（ひろし）」を取って「私に「博司（ひろし）」と名付けたそうです。

ファーマ 先生の故郷を教えてくださいませんか。また、東京で薬剤師連盟の会務に携わっていらっしゃいますが、業務やお付き合いにおいて、ご出身地との違いで戸惑うことがありましたら教えてください。

尾島副会長 私は生まれたのは大阪市生野区で、父が銀行員だったため転勤が多く、3歳から福岡県直方市、小学一年に福岡県久留米市、小学五年に兵庫県神戸市東灘区、高校一年で大阪府堺市と転居したため、故郷らしい故郷はありません。そのため、皆さんから幼馴染の話や聞く時に、羨ましく思います。小学五年から関西で育ったので、東京へ行って戸惑ったのは、やはり、言葉です。地下鉄の中で、関西弁で話をされているのを聞くのがホッとします（笑）

ファーマ 先生の大学生活はいかがでしたでしょうか。思い出深いことなどを教えてください。

尾島副会長 大学生活は、野球と麻雀漬けの生活でした。ユニフォームの上から白衣を

着て、実験をして、途中放置の時に練習に行き、クラブが終わると、雀荘が友達の下宿で麻雀。勉強なんてする時間はありませんでした（笑）

学生時代の一番の思い出は、名城大学が当番で行なわれた、薬連（近畿を中心とした薬学部の競技）で、打率・打点・盗塁の三冠王になったことですね（笑）

ファーマ 大学卒業後、現在に至るまでの経歴を教えてくださいませんか。

尾島副会長 大学卒業（昭和51年）し日本レダリー株式会社に入社し大阪府北部の病院担当の課に配属になり、退職する平成6年まで大阪中部の病院、最後は南部の病院担当課長で、プロパーとして仕事をしていました。平成6年11月に堺市内で薬局を開局し現在に至ります。

ファーマ 先生は高校・大学と野球をやられていたとお聞きしていますが、今でも現役なのでしょうか。現在の趣味を教えてください。

尾島副会長 野球は、サラリーマン時代でも遊びとしてチームを作りましたが、集まって練習する事も無く、年に1〜2回試合をする程度でした。

開局して直ぐは、全く野球はしていませんでしたが、若い薬剤師（大学の野球部の後輩）が従業員として入社してきたのをきっかけとして、息子も入れてチームを作り、堺市のクラブチームに登録して活動していました。

当時は、日曜日も午前中は薬局を開局していたので、毎週、日曜日の早朝6時から8時まで練習していました。私はもう45歳を超えていたのですが、皆とランニングしたり、監督兼たまに一塁手として試合にも出ていました。55歳になって引退し、友人に譲りました。

現在の趣味は、ゴルフと温泉巡りくらいですが、中々、休みが取れず行けない状況です（涙）

ファーマ これまでのお仕事の中で、記憶に残ることなどを教えてください。

尾島副会長 平成8年7月に0-157による堺市学童集団下痢症が発生したときに日曜日だったので、休日・急病診療所に当番で出勤したのですが、東北にある診療所に入った途端、異様な風景を目にしました。親に付き添われた子供たちが溢れて、通路で横になっている子供がいて、調剤室に入るのも困難な状況ですし、トイレが一杯で、間に合わずお漏らししている子供も多かったです。

日曜日だったので、うちの薬局は日曜日も午前中は開けていたので、すぐに電話し、薬局にある、紙おむつ（赤ちゃん用・大人用全て）を持って来させて対応したのですが、焼け石に水状態でした。ドクターも普段は2人対応するのですが、その時は5名に増員され、薬剤師も8人態勢であたりましたが、次から次に患者さんが来院され定時は9時から17時で、次の当番の薬剤師に交代するのですが、その日は、20時まで応援して帰宅しました。薬局を開局して2年目の出来事で、忘れることが出来ません。

ファーマ 日本薬剤師連盟副会長として、今後最も力を入れたいことを教えてください。

尾島副会長 担当している組織強化に取り組みたいと思っています。毛嫌いして連盟活動に政治活動と思っ、毛嫌いして

いる会員さんを見ると、昔の自分を思い出します。私は、連盟活動は「薬剤師の職能拡大・地位向上」の活動だと思っ様になり、現在活動を続けています。

10万人の日本薬剤師会の会員は、職種も違い、出身大学も違い、環境や趣味も違いますが、野球が好きで会員もいれば、全く興味のない会員もいますし、興味があっても、ジャイアンツファンのみといえれば、タイガースファン、カープファン等様々です。政治に興味がある人も、ない人もいますし、興味があっても、自民党支持者、公明党支持者、共産党、維新の会、立憲民主他支持者もいて、色々います。

ですが、「薬剤師の職能拡大・地位向上」は10万人全ての会員が目指していることは共通ではないでしょうか。

私たちの夢を現実にするための手段として、法律を作り法律を改正する国会議員に一人でも多くの薬剤師を送り込むことという事を理解して貰えば、組織強化に繋がると確信して活動して行きます。

ファーマ 最後に、人生におけるモットーを教えてくださいませんか。

尾島副会長 すべては「1日1日の積み重ね。きょう頑張れば、それでいい。」元厚生労働省事務次官の村木厚子先生が

仰った言葉ですが、私の耳から離れませんが、全力で、今日も頑張ります！
ファーマ 本日は、貴重な時間をさいいただき、また丁寧な説明をいただき、ありがとうございました。これからも薬剤師のために活躍いただくことを期待しております。



編集後記

青春の詩

先月ある会合の講演会に出席すると演者は県知事であった。講演内容はこれからの県政と経済についてであり、我々の業界にとっても大変参考になった。講演後の質疑応答では、雇用問題と働き方改革の内容の質問であった。知事からの回答の中に「今の雇用は売り手市場であり中小企業には厳しい時代である」と云われながら本県では離職率は40%を超えており理想と現実のギャップがあり、もう少し自分に厳しく理想だけでなく、よく考えての就職をしてもらいたい」との事であった。確かに云われる通り、目の前の理想で就職する人が多いし、甘えている人が多くなっているのは現実であると思ひながら、ある専門学校に講義に行つたとき学校の玄関掲示板に学生向けに学校長が詩を書いていたのが目に留まった。この掲示板には毎月多くの有名な人、また教訓等の言葉を書いている。今回の言葉はサミエル・ウルマン氏の青春の詩であった。

第二次大戦終了後、昭和天皇が日比谷の占領軍司令部にマッカーサー元帥を訪問し、天皇が始めて民間人と並んでツーショット写真を撮られた部屋の壁に掛けられていた詩が、この青春の詩（英文）であった。マッカーサー元帥は座右の銘として執務室に飾っていた。

青春の詩

人は信念と共に若く、
疑惑と共に老いる。
人は自信と共に若く、
恐怖と共に老いる。
希望ある限り若く、
失望と共に老い朽ちる。

この詩は人生のある期間を云うのではなく心の様相を云うのだ。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心などの様相を云う。我々はこの様な思いで業務を全うしたいものだ。（T・A）

広報委員

- 安東 哲也、石井 甲一
- 小野 春夫、鳥海 良寛
- 大澤 泰輔、大原 整
- 近藤直緒美、渡邊美知子

もとゆき Report

藤井もとゆき 国会レポート

薬剤師・薬学博士
自由民主党組織運動本部本部長代理・参議院議員
藤井もとゆき

女性の働きやすい社会

国会は、32日間延長されて7月22日までとなり、政府が最重要法案と位置づける働き方改革推進関連法案は、6月29日の参議院本会議にて可決成立しました。

この法案は、長時間労働を解消するため、罰則付きの時間外労働の上限規制を設けるとともに、一億総活躍社会の実現に向けて、誰もが柔軟で柔軟な働き方が出来るよう、その選択の幅を広げるのが目標となっています。

特に社会進出の進む女性にとって、仕事と子育て等の家庭生活の両立を可能とすると同時に、少子化やキャリア形成の障害を取り除いていくことが大きな課題となっています。医療の現場を見ても、看護師に女性が多いのは必然のことと考えますが、医師・歯科医師・薬剤師等、他の医療専門職にも多くの女性が働いています。一昨年末に実施された、「医師・歯科医師・薬剤師調査」によれば、医療機関に従事する医師、304,759人のうち、女性は64,305人（約21%）、歯科医師101,551人の内、女性は23,391人（約23%）、薬剤師230,186人の内、女性は151,754人（約66%）となっています。まさに女性の活躍無くしては成り立ち得ない状況にあります。

病人やけが人の発症や受診を予測することは困難です。医師や歯科医師は、医師法・歯科医師法により、患者の診療の求めに応ずることが義務付けられています。また、薬剤師に対しても薬剤師法により、調剤の求めに応じることが義務となっています。このため、夜間・深夜を問わず24時間の対応が求められ、やむを得ず時間外労働が増加する、あるいは勤務間インターバルが取れない等の問題も生じることが懸念されます。法案では、医師の時間外労働の上限規制の導入を法施行後5年に適用するとし、具体的な上限は改めて検討するとしていますが、医療従事者への女性進出が増加する状況において、過酷な医療現場の働き方改革は急務と思ひます。

女性の働きやすい職場・社会を一日も早く実現するには、女性の立場から世の中に訴え掛けていくことが、より説得力を生むものと思ひます。